

きょうと女性農業委員の会だより

あゆみ

Vol.8



中丹ブロック版

中丹地域の誇り…

さらに上を目指して

中丹三市が共に力を入れている「万願寺甘とう」の総出荷量が過去最高となり、売上げ高が3億円を突破しました。ブランド産地として、生産者のたゆまぬ努力の成果で、すでに次年度に向けて、取組が始まっています。産地を維持して農地を守り抜きたいものです。



綾部市



綾部の特産を発信！

グンゼ発祥の地、綾部。

あやべグンゼスクエアには、120種類1200本のバラ園があり、5月中頃には“バラ祭り”でにぎわいます。

その横には、2年前に新しくオープンした「あやべ特産館」があり、地元産の新鮮な野菜や特産品、加工品が並び、毎日、安全・安心を求めのお客さんにぎわっています。



綾部市／塩見委員・福井委員・岩上委員

全国農業新聞の献立♪ 「簡単おはぎ」をPR

3月21日綾部市梅林公園で開催された「うめ梅まつり」に、綾部市の女性委員3名が出展。「全国農業新聞の献立♪」ホームページに掲載された「簡単おはぎ」をPRしました。

「綾茶café」で、ほっこりひと時を！

あやべグンゼスクエア内「あやべ特産館」に併設のカフェ。

綾部市のお茶農家産出の高品質茶葉を使用した玉露や抹茶、オリジナルスイーツが楽しめます。

とてもナチュラルな雰囲気のお店で、抹茶の香りが漂っています。

また、夢ちゃん工房の「米粉シフォンケーキ」も並んでおり、居心地の良い所です。



舞鶴市



佐波賀大根が復活！

佐波賀大根は、舞鶴生まれの京の伝統野菜です。

江戸時代から栽培され、幾度か品種改良されてきましたが、一時姿を消しました。

現在、品種改良や栽培工夫に取り組み、伝統野菜として復活。地域ブランドとして人気となっています。

シャキシャキと食感のある葉は、サラダや油炒めになじみ、大根は特におでんとよく合います。



葉も根も余すところなくおいしく食べられる優れたものです。

舞鶴茶の条例を策定

12月の市議会で、舞鶴産のお茶の生産振興及び促進に関する条例が可決成立しました。

全国茶品評会の「かぶせ茶」の部門で、4年連続全国1位を獲得するという偉業を達成し、舞鶴茶の産地として高い評価を受け、このほどの条例制定に至りました。

お茶に関する条例は全国的にも少なく、更なる躍進を目指し、決意も新たに頑張ります。

舞鶴市／小杉委員・植和田委員・梅垣委員

福知山市



小菊栽培講習会が好評

お盆に欠かせない小菊の栽培講習会が開催されました。講師には、福知山市農業委員の廣岡治さん。分かりやすい資料と、豊富な体験談をお聞きし、経験者も初心者もやる気満々。今後、彩菜館に、多くの小菊が並ぶことを期待しています。



新規就農者の先駆訪問

京都市から、新規就農者として三和町に入殖して、16年が経過した三崎要さん、暢子さんご夫妻。

水菜やほうれん草などをハウス 24 棟で栽培。暢子さんの作られるブルーベリーやジャムも大好評。エコファーマーの認定も受け、学校給食センターにも納入。

研修生も受け入れ、指導者としても大活躍。仲間を増やし地元を活性化したいと頑張っておられます。



福知山市／荒木委員・高橋委員

「会」の活動のご報告

第 10 回総会と研修交流会に 35 会員が参加

2月19日に京都市で第10回総会・女性農業委員研修交流会を開催し、35名の会員が出席。27年度活動報告・決算、28年度活動計画・予算を承認したあと、農業委員会法の改正を受け、女性委員を確保していくため、「女性農業委員の登用に関する申し合わせ決議」を行いました（右記参照）。その後の研修交流会では、「農業委員会法の改正と当面する課題について」をテーマにグループディスカッションを行い、各委員会での活動内容（婚活、地産地消、食育、放棄地対策など）の交流と意見交換をしました。



女性農業委員活動推進シンポジウム

3月9日に東京都で開催された女性農業委員活動推進シンポジウムに京都府内から、8名（京都市・京田辺市・南山城村）の会員さんが参加しました。

「農業委員会等に関する法律」の改正を踏まえた 女性農業委員の登用に関する申し合わせ

府内26農業委員会における女性農業委員は、現在、23農業委員会に58人と全農業委員数の1割にも満たないが、58人の女性農業委員は、それぞれの農業委員会にあって農地等の法令業務や耕作放棄地の解消対策等に積極的に取り組むとともに、農家や農村生活に直結した目線を活かし、広報活動や地産・地消活動をはじめ、農産加工や食育活動などに取り組むなど、委員会活動の幅を広げ、大きく貢献している。

さて、平成28年4月1日に施行される「改正農業委員会法」では、農業委員の年齢、性別等に著しい偏りが生じないように配慮することが明記されるなど、女性の農業委員への登用が促されているところである。

そこで、私たち「きょうと女性農業委員の会」は、今後も継続的かつ安定的に女性が農業委員に登用され、幅広い農業委員会活動を促す観点から、下記の取り組みに全力をあげることを申し合わせ、決議する。

記

- 一つ、現在の任期が満了するまで、農業委員として、自らの地域活動を強化し成果の積み上げに努める。
- 一つ、新しい農業委員会の構成にあたって女性の農業委員登用が確保されるよう、各農業委員会会長に要請をおこなう。
- 一つ、農業委員にふさわしい女性農業者を掘り起こすとともに、就任しやすい環境づくりに努める。
- 一つ、他の農村・農業女性組織とも連携し、女性委員候補の推薦が成るよう働きかけを行う。

平成28年2月19日
きょうと女性農業委員の会
第10回総会